

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.97 応急手当普及啓発活動推進事業			担当課	消防本部 警防課		予算費目名	款 9	項 1	目 1	
事業概要 及び目的	市民に対して、普通救命講習等の救命講習及び、救命フェア等を実施し、救命車が現場に到着するまでに行う心肺蘇生の重要性・必要性を訴え、1人でも多くの市民が心肺蘇生を普及させる。 普通救命講習等の救命講習を受講することで、「救える命」があるから、それが重要であり、必要であることを知り、心肺停止傷病者が発生した救急現場でのバイスタンダーCPRの実施率が向上する。又、救命講習の中では、心肺停止傷病者に対する処置だけではなく、気道異物（窒息）への処置や止血法、脳卒中や心臓発作かどのようなものであるか等も学ぶので、これらに対しても、バイスタンダーになることができる。 ※バイスタンダーとは、救急現場に居合わせた人で、救命蘇生法(応急手当)を実施できる人のことです。 ※CPRとは、心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)のことです。			成果指標	普通救命講習受講者数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
				成果 目標	計画値	単年度 2500 人	予算額(単位:円)	878,000	852,000	909,000	897,000
							決算額(単位:円)	858,405	837,057	844,640	
							従事職員数	4	4	4	
事業の 位置づけ	章 3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 普通救命講習等受講者を増加させれば、バイスタンダーの増加につながる。市人口に占める受講者(バイスタンダー)の割合が高くなれば、傷病者がいたら、誰もが躊躇なく足を止めて、救命のリレーを開始できるようになり、救命効果の向上につながる。	従事延べ日数	135	114	114				
	節 1	安全で安心なまちづくりの推進		民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input checked="" type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input type="checkbox"/> 余地なし						
	項 1	防災対策の充実			相手は? : <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> 企業・学校等						
	号 2	消防・救急体制の充実			形態は? : 応急手当普及員、応急手当指導員						

2. 進捗状況

	平成 21 年 7 月 23 日記入				平成 22 年 5 月 24 日記入				平成 23 年 4 月 18 日記入					
年度	21 年度評価(20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価(21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価(22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・普通救命講習 50 回 受講者数 1,579 人				・普通救命講習 44 回 受講者数 1,171 人				・普通救命講習 48 回 受講者数 1,751 人					
継続している 事項	・				・				・					
未着手事項	・				・				・					
改善案	成果指標 実績値 1,579 人 達成率 63%				成果指標 実績値 1,171 人 達成率 47%				成果指標 実績値 1,751 人 達成率 70%					

3. 今後の方向性

	平成 21 年 7 月 24 日協議実施					平成 22 年 5 月 25 日協議実施					平成 22 年 4 月 19 日協議実施				
今後の方向性	成果の方向性	拡充			○	成果の方向性	拡充			○	成果の方向性	拡充			○
		現状維持					現状維持					現状維持			
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。		縮小					縮小					縮小			
		休廃止					休廃止					休廃止			
		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充
	★上記を選択した根拠 事業開始から平成 20 年度末までの受講者数累計は、18,085 人であり習志野市人口比では 11%である。救命率向上のため、人口比 20%を目標としている。					★上記を選択した根拠 事業開始から平成 21 年度末までの受講者数累計は、19,256 人であり習志野市人口比では 12%である。救命効果向上のため、人口比 20%を目標としている。					★上記を選択した根拠 事業開始から平成 22 年度末までの受講者数累計は、21,007 人であり習志野市人口比では 13%である。救命効果向上のため、人口比 20%を目標としている。				
方向性を実現するため実施すること(改革案)	年間の受講者数を増やすためには、市民、企業等、民間の応急手当普及員及び応急手当指導員の活動が不可欠であることから、これら応急手当普及員及び応急手当指導員の活動条件整備を行う必要がある。					平成 18 年度以降、受講者が減少傾向にあることから、普通救命講習を消防本部主催の定期開催以外に、町会及び企業に対し応急手当普及員及び応急手当指導員により実施する。					AED の設置事業所が増加傾向にあり、従業員への普通救命講習受講を促進することで、AED の活用とあわせた救命効果の向上が期待される。				
前年度改革案の実施状況	■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。					■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。					■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。				